

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の連結業務粗利益は1兆660億円となりました。厳しい経営環境ではありましたが、三井住友銀行における金利動向を的確に捉えた国債等債券損益の計上等により、ほぼ前年同期並みの水準を確保しております。

また、営業経費につきましては、経費削減への取組みを一段と強化したことから、前年同期比59億円減少し、5,330億円となりました。

一方、与信関係費用は、三井住友銀行において、政府の景気対策効果や取引先の状況に応じたきめ細かな対応に取り組んできた成果、海外マーケットの状況改善等により、前年同期比672億円減少したことを主因に、連結ベースでは前年同期比337億円減少の2,685億円となりました。

以上の結果、経常利益は前年同期比313億円増益の2,222億円、特別損益や法人税等調整額等を勘案した中間純利益は前年同期比403億円増益の1,235億円となりました。

【連結】

(単位:億円)

	21年度第2四半期累計期間 (4月～9月)		20年度 (参考)
		前年同期比	
連結粗利益	10,660	△ 21	21,659
営業経費	△ 5,330	+ 59	△ 10,634
与信関係費用	△ 2,685	+ 337	△ 7,678
株式等損益	△ 89	+ 108	△ 1,837
経常利益	2,222	+ 313	453
中間純利益	1,235	+ 403	△ 3,735

【三井住友銀行単体】

業務粗利益	7,193	△ 157	15,249
経費(除く臨時処理分)	△ 3,417	+ 149	△ 7,015
業務純益 ^(注)	3,776	△ 8	8,234
うち国債等債券損益	389	+ 434	261
与信関係費用	△ 1,569	+ 672	△ 5,501
株式等損益	△ 368	△ 197	△ 2,204
経常利益	1,471	+ 250	361
中間純利益	1,126	+ 322	△ 3,011

(注)業務純益:一般貸倒引当金繰入前